

地質年代学小委員会（第25期・第1回）議事要旨

下記の内容で委員会を開催した。委員13名の内、10名の出席により本委員会は成立した。

日時： 令和3年9月14日（火）14:00～15:00

場所： 遠隔会議

出席 奥村，兵藤，豊田，寺田，長谷川，加藤，小宮，岩田，星，田上

欠席 佐野，兵頭，中村

議事

1. 小委員会の役員を選出について（配付資料1）

世話人より本委員会の名簿が事前に配布され、委員の確認などを行った。また、委員長の選出を行い、田上が選出された。

2. 小委員会の活動内容の確認

2-1 今年の連合大会年代セッションの報告

コロナ禍のため、昨年に続きオンライン開催となった連合大会における本委員会主催のセッション（「S-GL22 地球年代学・同位体地球科学」，コンビーナー：田上，佐野）について報告があった。Zoomでの発表となったが、4件の口頭発表と5件のポスター発表があり、活発な質疑応答があった。また、関連セッション（「S-CG47 地殻表層の変動・発達と地球年代学／熱年代学の応用」，コンビーナー：長谷部，末岡，堤，田上）などについての報告もあった。

2-2 来年の連合大会年代セッション提案

来年の連合大会において、本委員会主催のセッションを開催する提案が委員長よりあった。協議の結果、「地球年代学・同位体地球科学」については田上・佐野が引き続きコンビーナーとしてセッション提案することとなった。また、固体地球科学セクションフォーカスグループ「表層変動熱年代学」等との関連でもセッション提案を検討することとなった。さらに、豊田委員，奥村委員，寺田委員，星委員を中心にそれぞれの分野において、次回以降の大会での開催を検討することとなった。

2-3 その他

以下の内容が長谷川委員から報告された：IUGS 国際層序学委員会白亜系小委員会においては、顕生累代の系境界では唯一 GSSP が設定されていないジュラ系／白亜系境界について提案がなされ、2020年に投票を行ったが否決されたため、新たなワーキンググループを立ち上げて検討に入った。チューロニアン／コニアシアン境界については小委員会で承認され上位委員会での決定待ちの状態，サントニアン／カンパニアン境界については提案の原案が審議されている状態である。

3. 議事要旨の委員長一任について

今回の議事要旨の承認について、委員間でメール回覧の後、委員長に一任することとなった。

4. その他

- ・委員の辞任について

兵頭政幸委員の辞任について、委員長から提案があり了承された。また、申し出のあった中村俊夫委員の辞任については、奥野充氏（福岡大学教授）を後任とすることとあわせて委員長から提案があり了承された。

配付資料

1：地質年代学小委員会名簿 2021.9.14

地質年代学小委員会
委員長 田上高広